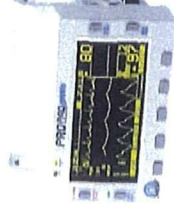


主な国内ミッションロジスティクス

東京DMAT / 日本DMAT



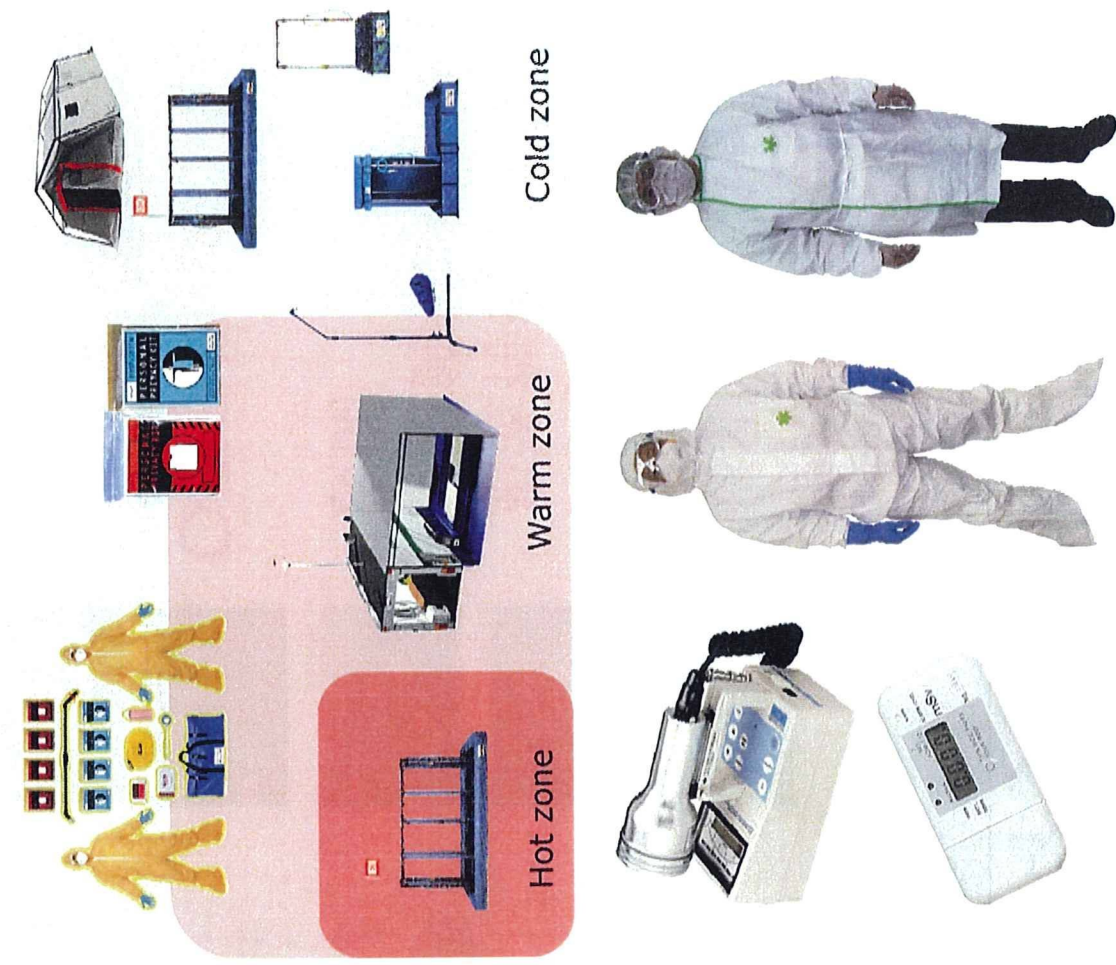
	商品名・規格	数量
1. 医療資器材の搬入用バッグ(資器材込) オスカルバッグNT型	3色セット(赤・黄・緑)	1 式
2. 通信機器 トランシーバー	AN501	5 台
3. 簡易心電図モニタ(パルスオキシメーター付)	プロバック202EL	1 式
4. 携帯用除細動器	レールダルFR2	1 式
5. 輸液ポンプ	TOP3300	2 式
6. ポータブル吸引器	OB-Mi ni	1 台
7. デイスポーザブル人工蘇生器	レスピロテック(10個入)	1 箱
8. ポータブル人工呼吸器	LTV1200	1 台
9. ユニフォーム等	病院名、他ロゴ、別色などは別途御見積	15 式
① ジャケット 緑 (DMATロゴ・県名入)		15 式
② ズボン 緑		15 式
③ 帽子及びヘッドライト	(インナーヘルメット付)	15 式
④ 手袋		15 双
⑤ 安全靴	(底合成ゴム、胴布)	15 足



主な国内ミッションロジスティクス

NBC対応DMAT

1. N災害用品
1-1. GMサーベイメータ
1-2. 線量率測定器 線量率測定器
1-3. 線量率測定器 個人被曝線量計
2. B災害用品: 防護服・マスク
2-1. Bpiキット
2-2. Bpiライイト
3. C災害用品: 化学防護服・防毒マスクセット
3-1. HazMat PP-Kit
4. 簡易毒劇物検査キット
5. ノルメカエイシア除染システム テント、除染シャワー、除染用消耗品、給湯器、暖房器具他



災害医療ロジスティックの必要々件



Reduce

減量

Reuse

再使用

Repair

修理

Recycle

再利用

- 平時より使える(習熟性)
- 可搬性
- 保守性
- ユニバーサル性
- グローバル性

ロジスティックの問題点(1)

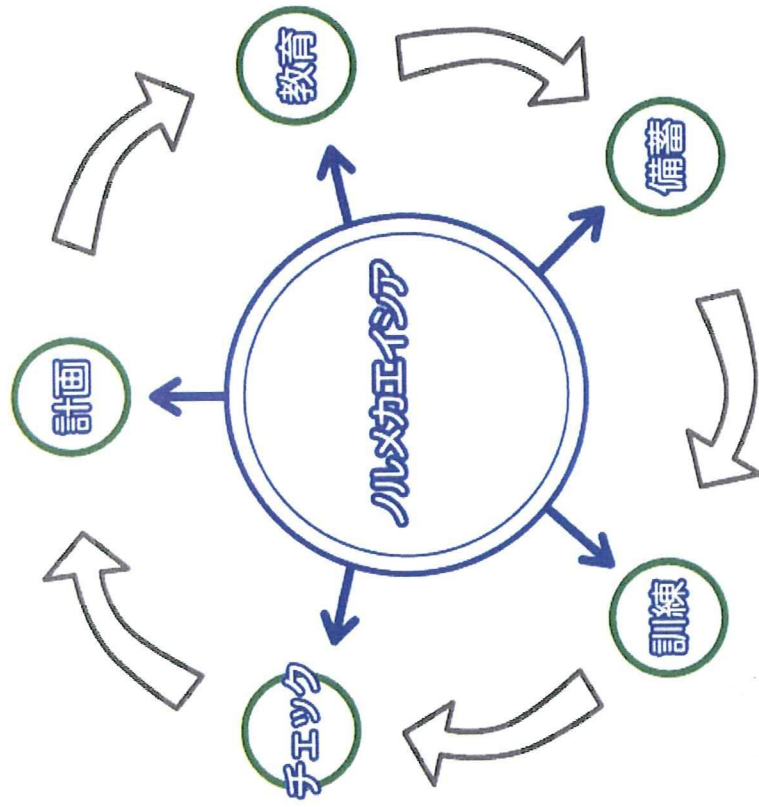
1. 医療資器材、医薬品の緊急調達(発災後の調達)
【時間的制約・旧型流通品・薬事承認許可・流通制度】
2. 資器材と医薬品の保管、管理
【メンテナンス・有資格者・温度湿度管理・薬事法】
3. 資器材と医薬品の運搬、輸送
【定期便・チャーター便・被災地域の集団】
4. 資器材と医薬品の通関(輸入・輸出)
5. 国際線(幹線)と国内線(地域線)
6. 派遣スタッフの安全と健康(OSHAに基づく)
【食・住・医(メンタルヘルスを含む)】

ロジスティックの問題点(2)

7. 追加資器材と医薬品の調達(現地・海外)
8. 資器材のメンテナンス(国内・海外ミッション)
【有資格者(PL、医療機材修理業、医薬品販売業、薬事法)】
9. 言語、食事、習慣、宗教、文化の違い
10. ミッションの終了、撤収(持ち帰り、寄贈)
【検疫・通関・運送】
11. ミッション終了後のスタッフのケア(PTSD感染症等)
【職場内・家庭内】
12. グローバル化
【日本・韓国・中国との共同研究、開発、標準化】

ロジスティック人材育成

- 体系的で専門的な知識と幅広い知見を有する人材育成
- 実施教育、研修
- 常設の勉強会・研修会の必要
- 一般社団法人日本災害医療教育研修協会の立ち上げ(予定)
- 海外との人的・技術的・資源的交流



Consequence Management
被害管理／結果管理を追求します

皆さんのご指導、ご教示をお願いいたします。
ご清聴ありがとうございました。

千田 良



陸上自衛隊の災害派遣

陸上自衛隊 東部方面総監部
防衛部長 渡部博幸



項 目

- 1 災害派遣の枠組み等
- 2 災害時の初動対処態勢
- 3 大規模災害対処要領
(首都直下地震対処の一例)

災害派遣の枠組み等

災害派遣の法的枠組み





災害派遣の種類

要請派遣

都道府県知事等から要請を受けて行う派遣



捜索・救助



給水・給食支援



入浴支援

自主派遣

緊急を要し、要請を待たないで行う派遣



近傍派遣

防衛省の施設又は近傍の災害の場合に行う派遣



5



災害派遣の3原則

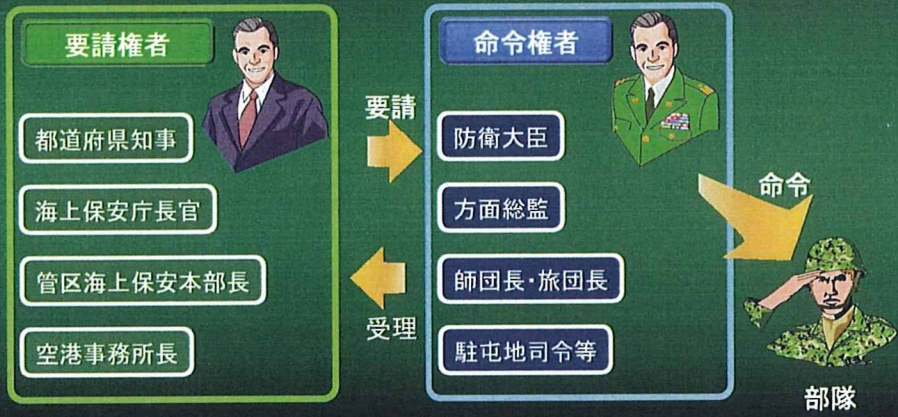
緊急性 差し迫った必要性があること。

公共性 公共の秩序を維持するため人命又は財産を社会的に保護しなければならない必要性があること。

非代替性 部隊が派遣される以外に他の適切な手段がないこと。

6

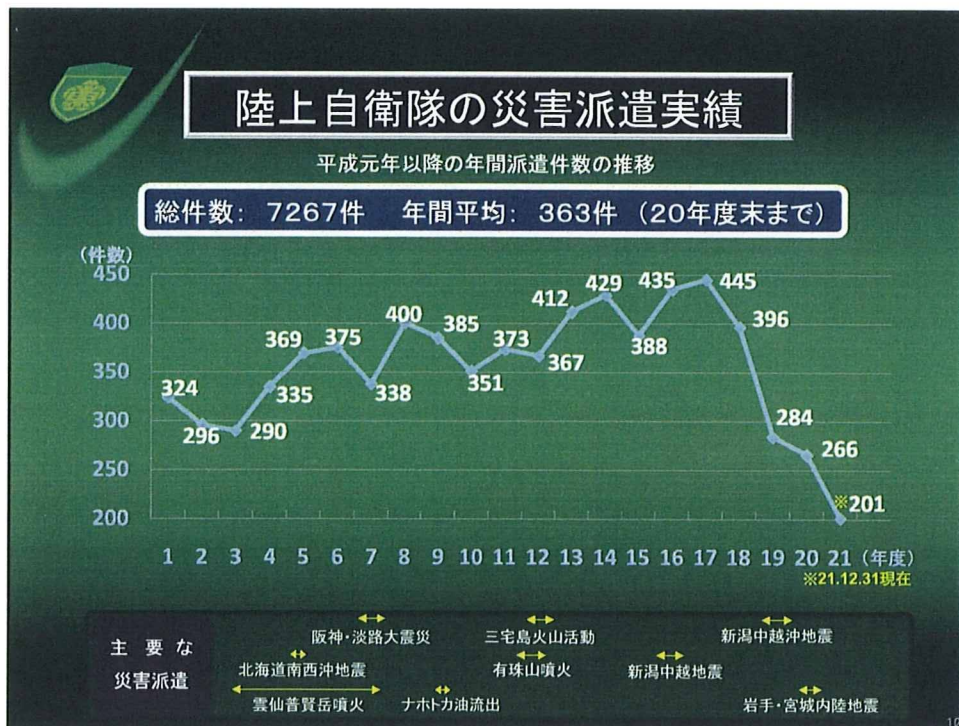
災害派遣の要請権者・命令権者



災害派遣の担当区域

各方面總監は、師団長又は旅団長に隊区を与え災害派遣を担任させる。







過去の大規模な災害派遣

阪神・淡路大震災 (1995. 1)

最大震度7 (M7. 2)

被害

死者: 6433人
負傷者: 41792人
全半壊: 460357世帯

派遣活動(延べ)

期間: 101日
人員: 1699000人
車両: 353000両
航空機: 7000機

活動内容:

人命救助 給水支援
入浴支援 医療支援
輸送支援 コミ処理
倒壊家屋処理



救助活動

11



過去の大規模な災害派遣

新潟県中越地震 (2004. 10)

最大震度7 (M6. 8)

被害

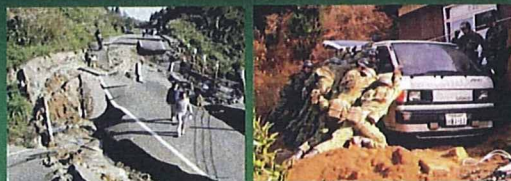
死者: 40人
負傷者: 4543人
全半壊: 14323世帯

派遣活動(延べ数)

期間: 60日
人員: 116000人
車両: 35000両
航空機: 600機

活動内容:

給水支援 給食支援
入浴支援 医療支援
輸送支援
倒壊家屋処理
テント提供支援



衛生科隊員による巡回医療支援

12

過去の大規模な災害派遣

新潟県中越沖地震
(2007. 7)

最大震度6強 (M6. 8)

被害

死者: 11人
負傷者: 1960人
全半壊: 4221世帯

派遣活動

期間: 45日
人員: 100000人
車両: 23700両
航空機: 300機

活動内容:

人命救助 給水支援
給食支援 入浴支援
テント提供支援



患者搬送



救助活動

13

過去の大規模な災害派遣

岩手・宮城内陸地震
(2008. 6)

最大震度6強 (M7. 2)

被害

死者: 13人
負傷者: 450人
全半壊: 1506世帯

派遣活動

期間: 51日
人員: 26000人
車両: 8000両
航空機: 500機

活動内容:

給水支援 給食支援
入浴支援



飛行統制用レーダーの展開



リモコンの重機による道路啓開

14

特殊な災害・事件等

日航機墜落事故
(1985. 8)



豊浜トンネル
崩落事故
(1996. 2)



ナホトカ号重油流出事故
(1997. 1)



東海村ウラン加工施設事故
(1999. 9)



京都府鳥インフルエンザ(2004. 3)

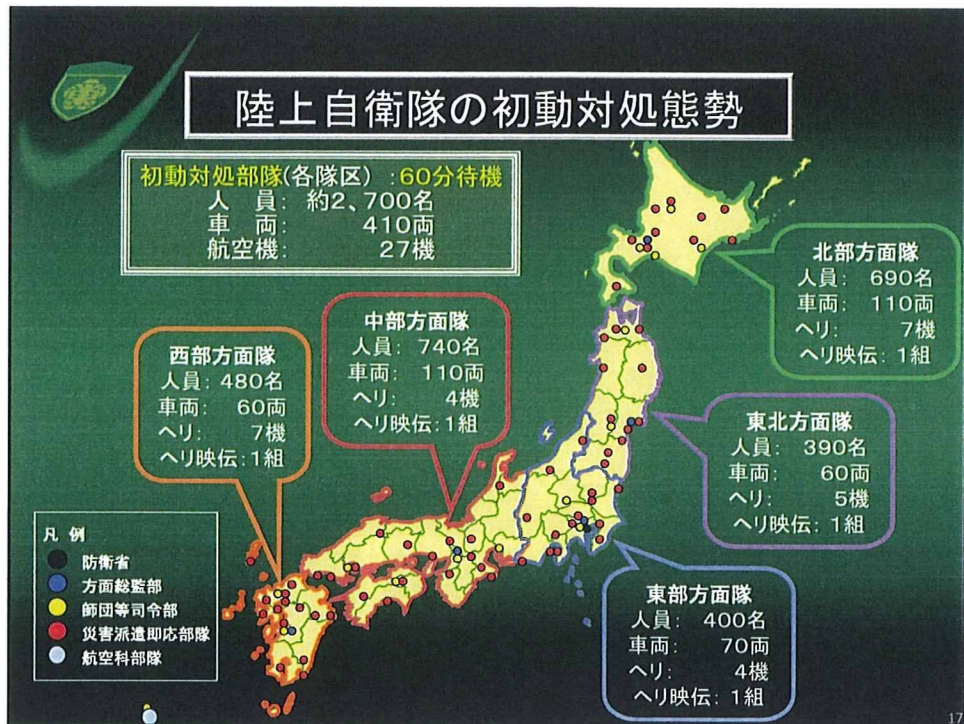


地下鉄サリンテロ事件(1995. 3)



茨城県鳥インフルエンザ(2005. 9)

災害時の初動対処態勢

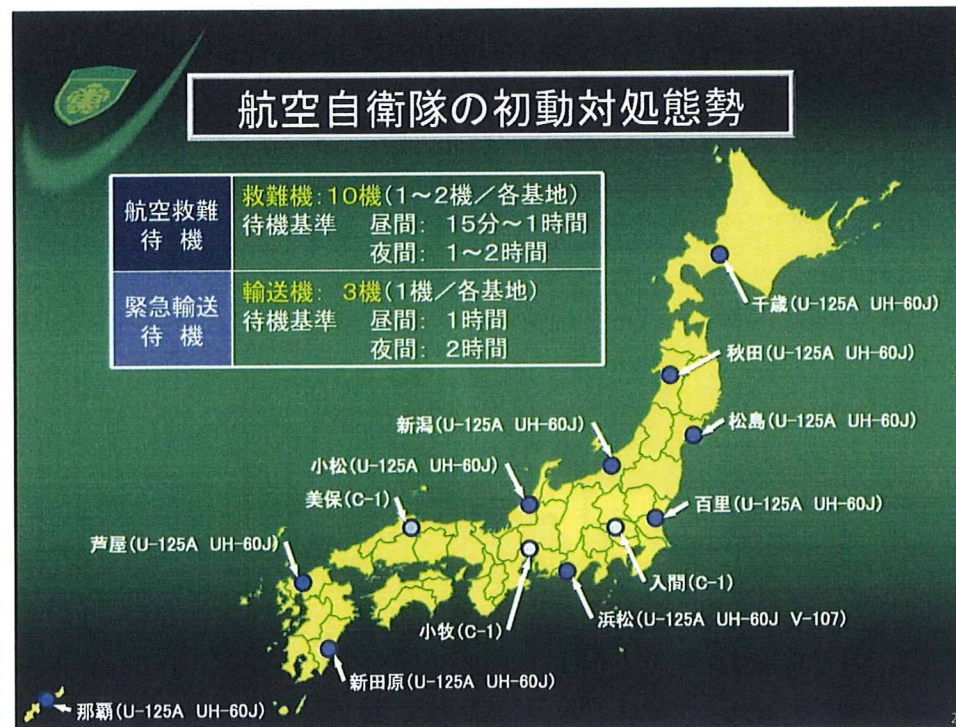
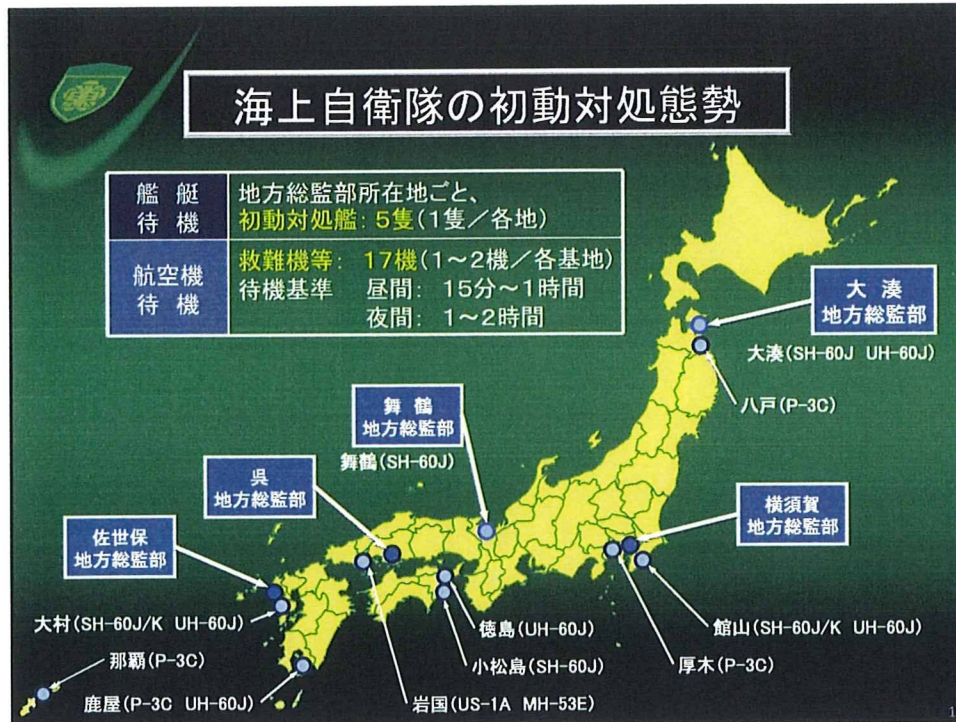


方面隊の即応態勢

部 隊	隊区担任部隊等	航空科部隊	化学科部隊	衛生科部隊	通信科部隊
1 師 団	初動対処部隊 約20名/隊区 (60分)	航空機×1 (60分)	偵察班 除染班 (60分)	救護班 (60分)	無線組 (60分)
1 2 旅 団	初動対処部隊 約20名/隊区 (60分)	航空機×1 (60分)	偵察班 (60分)	救護班 (60分)	無線組 (60分)
東 方 航空隊		UH×1(30分) UH(映伝機)(60分)			
東 方 通信群					映像伝送班 中継組 (60分)
東 方 衛生隊				治療班 (60分)	
中央即応 集 団	初動対処部隊 約40名 (60分)	CH×1 (50分)	偵察班 (60分)		

衛生科部隊の編成例
 救護班: 人員3名、救急車又は中型車1両
 治療班: 医官1名、看護師又は衛生救護陸曹2名、連絡調整員1名、救急車1両

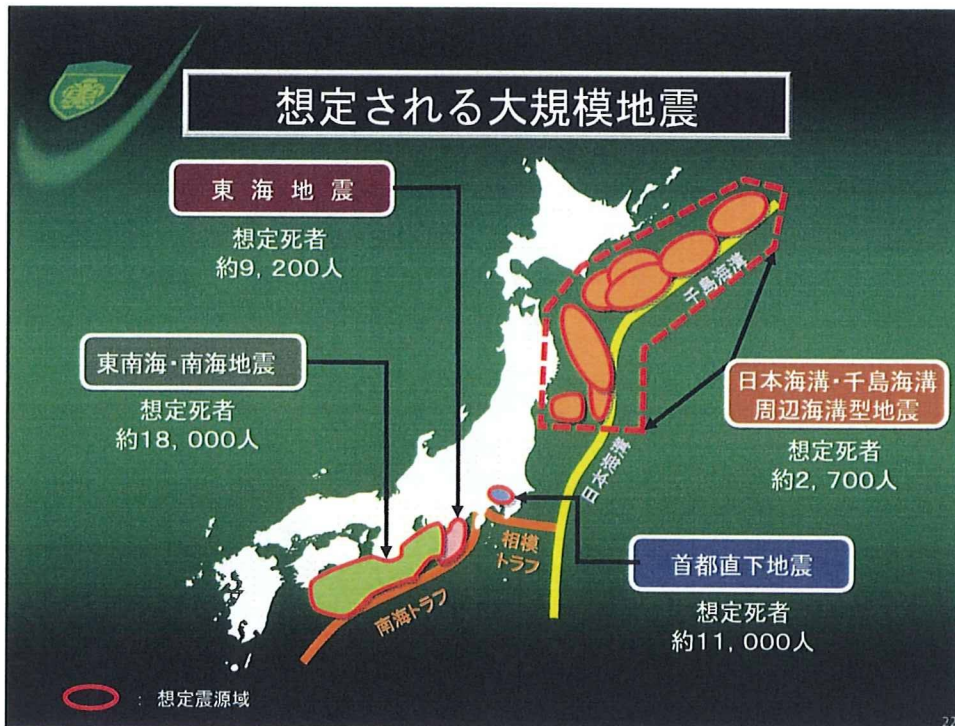
18





大規模災害対処要領 (首都直下地震対処の一例)

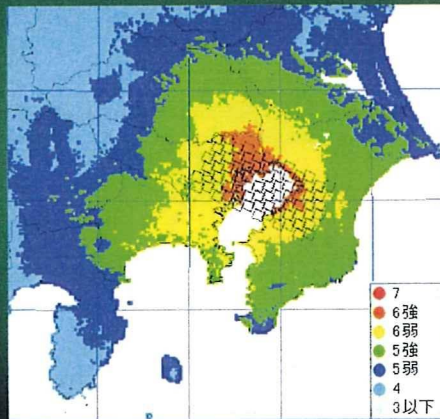
21



22

首都直下地震の概要

震度分布予測図



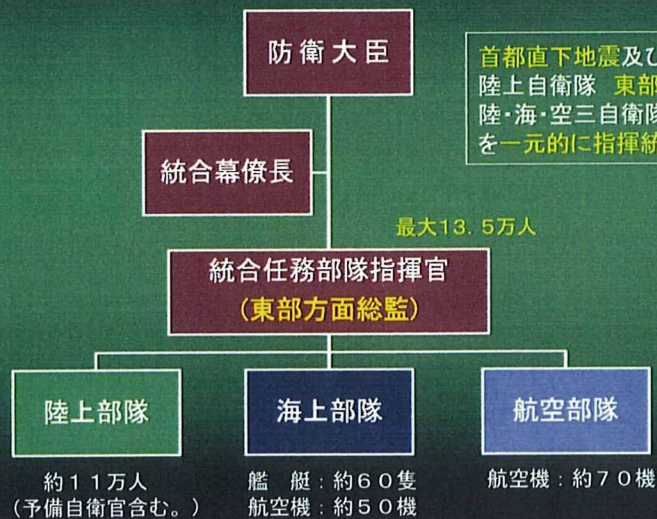
被害予想 (冬18時、風速15m/s)

被害予想対象地域	東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 (首都圏地域)
死者	約1.1万人
負傷者	約21万人
避難者	約700万人
帰宅困難者	約650万人
建物被害 (全壊・焼失)	約85万棟

内閣府: 「首都直下地震対策に係る被害想定結果について」より

23

統合任務部隊の編成



首都直下地震及び東海地震は
陸上自衛隊 東部方面総監が
陸・海・空三自衛隊の対処部隊
を一元的に指揮統制して対処

最大13.5万人

24